



「餅は主に年末年始用に販売していた。これを通年販売できるように頑張りたい」と中島理事。

## 自社栽培の餅米、ブラックベリーで商品開発



### 立花ファーム

売上拡大、販路拡大などのあらゆる悩みに応える窓口「サテライト」。相談を重ねて、次の一步を踏み出す。

#### 県内7ヶ所に窓口開設

中小企業や個人事業者が抱える経営上のあらゆる相談に応じる「秋田県よろず支援拠点」。コーディネーターが事業者の声を丁寧にヒアリングし、経営上の様々な悩みの解決を支援。成果が出るまで定期的にフォローアップし、課題に応じて複数の支援機関・専門家がチームを編成して力強くバックアップする。

常設の相談窓口はあきた企業活性化センター内にあるが、「秋田市までは距離がある」という地域の方におすすしたいのが、県内各地で開催する“出張窓口”の1つである「サテライト」。9月からは鹿角市でも開設され、県内7ヶ所での定期開催となっている。9月2日(金)の「サテライト大館」は三浦繁弘コーディネーターが窓口を担当。

#### 話すことで改善点が見えてくる

当日の相談者、「立花ファーム」の中島貞雄理事にお話を伺った。

「大館市立花地区の42戸・48人で構成する農事組合法人です。水稻、野菜、ブラックベリー等の栽培と、餅やブラックベリージャムの製造を行っています。サテライトを利用したのは、自社生産した餅米が原料の『切り餅』『干支餅』『七福神』の販促について相談したのが最初で、今回が5回目の訪問です。今は、夏商品として地元高校生とコラボレーションした『ブラックベリー餅』について、専門家派遣事業を利用しながら品質向上と衛生管理の指導を受けています。ゆくゆくは『ブラックベリー餅』を通年販売することを目指しています。

サテライトは地元までコーディネーターの方が来てくれるので、移動時間の面で助かります。何でも気軽に話せるし、話しているうちに、自分たちでは気がつかない新たな視点生まれ、課題や改善点が明確に見えてきます。」

サテライトの相談は無料※。気軽に相談できる雰囲気だ。サテライトの様子は「秋田県よろず支援拠点」のfacebookで紹介している。

※具体的な支援の段階で自己負担が発生する場合があります。

#### コーディネーター 三浦繁弘

##### ■得意分野…商品開発戦略、販路拡大、売上拡大

食品メーカーで培った実践的な経験を基にした、マーケットインの商品開発指導、流通チャネルとのネットワークを活用した販路開拓支援に多くの実績を有し、売上拡大に直結する販売、商品開発戦略を得意としている、また、農商工連携や6次産業化、企業マッチングの支援による新商品開発や連携事業等の指導実績多数。

#### 事業概要 秋田県よろず支援拠点 サテライト大館

秋田県内の中小企業・小規模事業者のための経営相談所として、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応します。コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

[日時] 第1・第3金曜日 10:00~15:30  
[会場] 大館市役所本庁

お問い合わせ あきた企業活性化センター 秋田県よろず支援拠点  
TEL 018-860-5605



A 自社栽培のブラックベリーを使って手作りしているジャム。煮詰めた果実を裏ごして種を取り除くなど、手間暇かけて作っている。

B 相談に応じる三浦コーディネーター。